

# PC-DMIS 2022.1

リリースノート

Hexagon Manufacturing Intelligence  
March 28, 2022



製作著作 © 2022 Hexagon Manufacturing Intelligence

All rights reserved

## 目次

リリースノート .....	6
新規追加の機能 .....	6
クラウドの構築 .....	6
HxGN Metrology Reporting .....	6
HxGN Robotic Automation .....	6
Renishaw Equator Gauging Systems .....	6
その他の改善および変更点 .....	7
アプリケーション .....	7
CMM .....	7
Excel フォーム・レポート .....	7
GD&T 測定結果 .....	7
ESF (VWMP) .....	7
HxGN NC Server .....	8
オンラインヘルプ .....	8
プローブ .....	8
設定エディタ .....	9
何が修正されました .....	9
アプリケーションのエラー .....	9
自動測定 .....	10
CAD .....	10
CMM .....	11
構築される要素 .....	11
ESF (VWMP) .....	13
GD&T 測定結果 .....	13
ヘルプ/文書 .....	14
HxGN Robotic Automation .....	15
Laser .....	15
旧式の寸法 .....	15
測定される要素 .....	15
メッシュ .....	15
パターンの貼り付け .....	15
ポイントクラウド .....	16
Portable .....	17
プローブ .....	17
保護 .....	17
Q-DAS 設定器 .....	17
レポート作成 .....	17
粗さの走査 .....	18
要約モード .....	18
ツール変換機 .....	18
Vision .....	18
このリリースに関する情報 .....	19
幾何公差コマンドに関する重要情報 .....	19

推奨システム要件 .....	22
オペレーティングシステム .....	22
Microsoft .NET Framework .....	23
RAM .....	23
CPU .....	23
グラフィックス .....	23
ハードドライブ .....	24
ディスプレイ .....	24
接続性 .....	25
ファームウェア配布済コントローラ (FDC)の接続 .....	25
LMS ライセンス .....	25
Hexagon Universal Updater .....	26
CrashSender1403.exe .....	26
アンチウイルスソフトウェア .....	26
三次元測定機に RS- 232 通信を使用するソリューション .....	26
.....	28
ソフトウェアのインストール .....	28
ステップ 1: システムおよびハードウェア要件を確認 .....	28
ステップ 2: 管理者としてログイン .....	28
ステップ 3: 既存の設定をバックアップ .....	28
ステップ 4 : ソフトウェアをインストールする .....	31
ステップ 5: インストール後にファイルをコピー .....	36
ステップ 6: PC-DMIS の初回起動 .....	37
コマンドラインによるインストール .....	40
ネットワークの接続 .....	43
ファームウェア配布済コントローラ (FDC)の接続 .....	43
LMS ライセンス .....	43
オフラインヘルプの使用 .....	43
Hexagon Universal Updater .....	43
CrashSender1403.exe .....	44
その他の製品 .....	44
ソフトウェアのアップデート .....	45
.....	47
インストールの変更または削除 .....	47
別の言語で PC-DMIS を実行 .....	47
言語パックから非英語バージョンのヘルプをインストールすること .....	48
トラブルに対処 .....	48
起動が遅くなる .....	48
衝突報告書を送信するためにネットワークを設定すること .....	49
既存バージョンの上にインストールすると予期せぬ現象が起こります .....	49
旧式の DPUUPDATE.EXE の実行は働きません .....	49
Hexagon Manufacturing Intelligence へのお問い合わせ .....	50
補遺 A .....	50

コマンドラインからのインストーラーに LMS のライセンス情報を提供 する .....	50
補遺 B .....	51
必要なユーザーアクセス権 .....	51
付録 C .....	52
柔軟な治具付きの PC- DMIS の初回インストール .....	52

# リリースノート

PC-DMIS 2022.1 はソフトウェアが大幅に改善されたリリース版です。このリリースに関する詳細情報およびビデオチュートリアルについては、[hexagonmi.com/products/software](https://hexagonmi.com/products/software) を参照してください。

## 新規追加の機能

### クラウドの構築

ポイントクラウドのメッシュデータから直接、要素を構築することができるようになりました。ポイントクラウドまたはメッシュデータから丸型溝、方形溝、円錐、円筒および球を作成できるようになりました。これで、他のシステムまたは測定ルーチンからポイントクラウドをインポートして、PC-DMIS で使用することができます。

「[クラウドの構築](#)」を参照してください。

### HxGN Metrology Reporting

HxGN Metrology Reporting はクラウドベースのサブスクライブされた Smart Factory ソリューションです。これは、リアルタイムの寸法およびレポートデータのリモートアクセス、使用および提供を行うように設計されています。HxGN Metrology Reporting を使用すると、メトロロジリーレポート (計測レポート) に簡単にアクセスして、プロセスのコントロールを維持するのに役立つデータおよびトレンドを表示することができます。

「[HxGN Metrology Reporting](#)」を参照してください。

### HxGN Robotic Automation

計測クライアントとしての PC-DMIS を HxGN Robotic Automation にシームレスに接続できるようになりました。HxGN Robotic Automation は計測分析およびレポート向けの PC-DMIS へのパートおよびストリームデータをスキャンします。これによって、ロボット測定のオフラインプログラミングと測定プログラムのデバッグに要する時間が大幅に節減されます。

「[HxGN Robotic Automation](#)」を参照してください。

### Renishaw Equator Gauging Systems

PC-DMIS および Inspect は Renishaw Equator Gauging systems をサポートするようになりました。PC-DMIS 測定ルーチンを CMM で作成し、Equator で同じ測定ルーチンを直接実行することができるようになりました。これによって、あるプログラミング言語から別のプログラミング言語に変換しなくても済みます。

「["Renishaw Equator Gauging Systems"](#)」。

## その他の改善および変更点

### アプリケーション

- PC-DMIS ツールバーのユーザーが選択するドロップダウンリスト項目で、ユーザーが開いている複数の測定ルーチン間で切り替えを行うときに、PC-DMIS は最後に選択された状態を記憶するようになりました。PCD-114391 を参照してください。
- **[CAD 設定]** および **[QuickMeasure]** ツールバーで **[CAD 変換]** アイコンを表示できるようになりました。PCD-214118 を参照してください。

### CMM

- HP-L-10.10 および ATS600 センサー向けに、**[ポイントクラウドフィルタ演算子]** ダイアログボックスで **[強度]** オプションが利用できるようになりました。これらのセンサーはポイントクラウドデータに関連する強度値を保存します。PCD-169484 を参照してください。
- PC-DMIS は、別のサードパーティ製の手動カウンタデバイスとして扱われるように、手動 CMM インターフェイスにおける CSI ボックス (Tech80) をサポートするようになりました。これによって、Tech80 インターフェイスのサポートが簡単になります。PCD-183315 を参照してください。
- 回転テーブルの漸増移動 (ステップ移動) を実行できるようになりました。0~360度の範囲の絶対値を使用できます。**[パラメータ設定]** ダイアログボックスで既存の回転テーブル位置に対する漸増値を入力することができるようになりました。PCD-217770 を参照してください。

### Excel フォーム・レポート

- Microsoft Excel のマクロを使用して、公差を示す色コードセルなどの反復タスクでアクションを自動的に実行することができます。これによって、必要に応じてスプレッドシートをフォーマットして無関係な情報を削除し、計算を実行するマクロを使用して Excel レポートテンプレートをカスタマイズし、読みやすくすることができます。PCD-220265 を参照してください。

### GD&T 測定結果

- 幾何公差コマンドを使用して、考慮される要素またはデータムのいずれかとして、構築される抽出される要素を参照できるようになりました。PCD-219515 を参照してください。

### ESF (VWMP)

- PC-DMIS は、HxGN Robotic Automation ですべての ESF (VWMP) フラッシュとギャップ要素をサポートするようになりました。PCD-216761 を参照してください。

- [抽出される板金要素] ダイアログボックスの [光学パラメ - タ] エリアで特定の抽出パラメ - タを定義できるようになりました。これを行うことができるのは、ESF (VWMP) 光フラッシュとギャップ要素 (MA、MB、MC、MD、NA) をプログラムするときです。PCD-219760 を参照してください。
- 仕様に準拠してケース A、B および C に従い MA ギャップ要素を測定できるようになりました。PCD-220582 を参照してください。
- MA、MB、MC、MD ギャップ要素と NA フラッシュ要素をプログラムできるようになりました。PCD-216739、PCD-216740、PCD-216741、PCD-216742、PCD-216743、PCD-216744、PCD-216745、PCD-216746 および PCD-216747 を参照してください。

## HxGN NC Server

- HxGN NC Server 2021.2 は、PC-DMIS での使用を意図した完全に再構築された NC Server 製品の最初の主要リリースです。NC Server では CNC 工作機械で PC-DMIS を使用することができます。これで、工作機械に対する検査プログラミング言語として PC-DMIS を活用することができます。工作機械で PC-DMIS を利用すると、そうしない場合には不可能ではないが非常に困難な広範囲の検証、検査および自動化タスクを実現できます。詳しくは、[HxGN NC Server](#) ドキュメントを参照してください。PCD-219203 を参照してください。

## オンラインヘルプ

- docs.hexagonmi.com の PC-DMIS ヘルプセンターでは、Application Insights に加えて Google Analytics を使用し、そのサイトにあるドキュメントを操作する方法に関する理解を深めることができます。PCD-202625 を参照してください。
- PC-DMIS ヘルプにおける ESF (VWMP) フラッシュおよびギャップ要素のドキュメントを作成する方法を表示できるようになりました。PCD-220482 を参照してください。

## プローブ

- PC-DMIS は、デジタル画像からの高速キャプチャおよび測定を提供する HP-C-TS5.10 センサーと互換性があるようになりました。PCD-197435 を参照してください。
- PC-DMIS はインデックス可能なモーター駆動ヘッドと高精度固定ヘッドを簡単に切り替えるための手動アプリケーションチェンジャー (MAC) センサーをサポートするようになりました。これは、システムの柔軟性および測定ルーチンの速度を向上させるためにプローブヘッドを素早く切り替え、CMM のダウンタイムを低減するのに役立ちます。PCD-202083 を参照してください。
- [プローブユーティリティ] ダイアログボックスで新しいプローブを作成するとき、PC-DMIS は XML ファイルを作成するようになりました。これで XML ファイル

を Technology サーバーにインポートすることができます。PCD-218318 を参照してください。

- PC-DMIS では、多くのアナログプローブタイプに向けてデフォルトの特定アナログプロービングパラメータ/力を定義できるようになりました。これによって、測定ルーチンに OptionProbe コマンドを追加する必要性が少なくなります。これは関連するプローブパラメータをユーザーが介入しなくてもコントローラに送信して時間を節減します。PCD-218808 を参照してください。



### 注記

PC-DMIS 2019 R2 以降、PC-DMIS はパーセプトロンレーザーセンサーをサポートしなくなりました。PC-DMIS 2019 R2 以降をインストールできる場合もありますが、パーセプトロンスキャナーを使用する測定ルーチンを実行しようとする、PC-DMIS はエラーを表示します。詳細については、テクニカルサポートにお問い合わせください。

## 設定エディタ

- PC-DMIS は PC-DMIS および関連するインターフェイス設定を JSON ファイルに保存するようになりました。PC-DMIS はその設定を Windows レジストリには保存しなくなりました。これによって Windows レジストリのアクセス許可問題を解決しました。管理者権限がなくても JSON ファイルにアクセスできるようになりました。これらの JSON ファイルはオペレーティングシステムと独立しています。PCD-208310 を参照してください。
- 設定エディタアプリケーションの RoboticAutomation セクションは利用できなくなりました。PCD-219252 を参照してください。

## 何が修正されました

### アプリケーションのエラー

以下の場合にアプリケーションエラーが発生しなくなりました。

- ポータブルデバイスで DCC スキャンを実行しようとするとき。PCD-216012 を参照してください。
- 最初の円測定後、4 軸スキャンで適応性のある円筒同心円スキャンの測定を実行するとき。PCD-217934 を参照してください。
- 特定のインスタンスで PC-DMIS を閉じるとき。PCD-221434 を参照してください。
- ビジョン要素に関する測定ルーチンをより多くのライトで構成された測定機に移動するとき。PCD-221501 を参照してください。

- 無効なチップコマンドを含む測定ルーチンを開くとき。PCD-221513 を参照してください。
- 原点で構築された点を編集するとき。PCD-223444 を参照してください。

## 自動測定

- PC-DMIS は HP-O センサーでの 4 軸スキャン向けにベクトルのないスキャンを生成するようになりました。これはギャップで曲線を測定する特別なスキャンモードです。PC-DMIS は穴へのスキャンの軌道を調整しません。PCD-206053 を参照してください。
- 測定ルーチンを閉じて再度ひらくときに、PC-DMIS は [レーザー自動平面] ダイアログボックスにある [CAD オフセット チェックボックスの選択を保持する] になりました。PCD-208982 を参照してください。
- 最後のサンプルヒットから円筒の中心までの正しいパスラインを表示できるようになりました。PCD-212842 を参照してください。
- PC-DMIS では多数の点を読み取るのに掛かる時間が節減されました。この機能改善によって適応性のあるスキャン方式の性能が向上します。PCD-218491 を参照してください。
- PC-DMIS では、ユーザーが PC-DMIS NC でベクトル自動点要素をプログラムするとき公称値測定モードのみが可能で、これはハードウェアクラッシュを引き起こす可能性のある実行時のアプローチベクトルの変更を防止します。PCD-219196 を参照してください。
- 最大入射角フィルターを使用するレーザーエッジ点を含む測定ルーチンを保存するとき、PC-DMIS はファイルのサイズを増やさなくなりました。PCD-219704 を参照してください。
- ポイントクアウドオブジェクトが空の状態でも、最大入射角フィルターを使用して [自動要素] ダイアログボックスから抽出されるレーザー自動要素を作成できるようになりました。直接測定される自動要素を作成するとき、最大入射角フィルターを使用することはできなくなりました。PCD-220311 を参照してください。
- レーザー最上部点自動要素を作成するとき、[自動要素] ダイアログボックスの [幅] および [長さ] ボックスに 1 未満の値を入力できるようになりました。PCD-221600 を参照してください。
- PC-DMIS は、測定ルーチンがインチ単位のと看、レーザー自動平面、円錐、円筒および球に対する編集ウィンドウで CAD オフセット値をインチ単位に変換しなくなりました。PCD-222760 を参照してください。

## CAD

- .CATPart ファイルをインポートするとき、CAD 表面のトリミングを正しく表示できるようになりました。PCD-217592 を参照してください。
- NX DCI CAD モデルをインポートするとき、表面のエッジを表示できるようになりました。PCD-218533 を参照してください。

- 設定エディターの **AllowToRunWithoutCADFile** 設定で、「エラー - NX を初期化できません!」というエラーメッセージをオンまたはオフにすることができるようになりました。PCD-219225 を参照してください。
- IGES CAD ファイルを PC-DMIS 測定ルーチンに正しくインポートできるようになりました。PCD-222308 を参照してください。

## CMM

- ユーザーが無限リストでのマッピングの使用を無効化または再有効化した後に、PC-DMIS はすべてのチップをそれが最初のチップであるかのように扱わなくなりました。PCD-221903 を参照してください。

## 構築される要素

- 構築されるスロットの種類を円形から方形または方形から円形に適切に切り替えることができるようになりました。PCD-14773 を参照してください。
- [一般要素の構築] ダイアログボックスで 理論 / 実測 X、Y、Z 値を極座標 (RAH) として入力できるようになりました。PCD-154403 を参照してください。
- ユーザーが点カラーマップまたは表面カラーマップから構築するときに、PC-DMIS は構築された極点の正しい CAD 公称値を表示できるようになりました。PCD-214758 を参照してください。
- [要素の構築] ダイアログボックスで作業するとき、構築される抽出される円および平面の COP 選択ボックスおよび分離された点を表示できるようになりました。PCD-216220 を参照してください。
- [構築される抽出される要素] ダイアログボックス、[レーザー自動要素] ダイアログボックスおよび編集ウィンドウでパラメータの同じ配列を表示できるようになりました。  
[構築される抽出される表面点、平面および円] ダイアログボックスにおける [法線が外側にある点を削除] チェックボックスの上に [外れ値を削除] チェックボックスを表示できるようになりました。  
また、[構築される抽出されるエッジ点] ダイアログボックスの [要素プロパティ] エリアの真下に [測定プロパティ] エリアを表示できるようになりました。  
また、編集ウィンドウで構築される抽出される円要素のクリッピングパラメータの下に RINGBAND パラメータを表示できるようになりました。PCD-217974 を参照してください。
- 円錐から 2 つの円を構築するとき、同じ大きさの値を表示できるようになりました。PCD-219021 を参照してください。
- 構築される抽出される各要素の適切な [要約モード] アイコンを表示できるようになりました。PCD-219468 を参照してください。
- 2 つの自動円から BF または BFRE 円筒を構築できるようになりました。PC-DMIS は選択された円のすべてのヒットから結果的に得られる円筒を計算します。PCD-219684 を参照してください。
- ユーザーが構築される抽出される要素を作成または実行し、定義された検索領域内部にポイントクラウドデータが存在しないとき、PC-DMIS は「レーザーライブ

が見つかりません」というエラーメッセージを表示するようになりました。  
PCD-219955 を参照してください。

- ユーザーが CAD 表面を選択するとき、PC-DMIS は構築される抽出されるエッジ点の正しい表面およびエッジベクトルを設定するようになりました。PCD-219956 を参照してください。
- PC-DMIS は、**[要素の構築]** ダイアログボックスにある **[自動]** にデフォルトの方法を常に設定するようになりました。異なる種類の方法を選択してダイアログボックスを閉じる場合、ダイアログボックスを再度開くと、PC-DMIS は方法の種類をリセットして、**[自動]** に戻します。PCD-219971 を参照してください。
- ユーザーが COP またはメッシュデータから平面または球を抽出するとき、PC-DMIS は関連するヒットデータを保持するようになりました。PCD-219972 を参照してください。
- ユーザーが **[円の構築]** ダイアログボックスで論理的な厚さ値を変更するとき、PC-DMIS は構築される抽出される要素を補正するようになりました。PCD-220095 を参照してください。
- PC-DMIS は、**[構築される円 (抽出される円)]** ダイアログボックスの **[要素に基づいたクリッピング]** エリアにある内部および外部水平クリッピング領域に関連するテキストボックスを的確に表示するようになりました。PCD-220096 を参照してください。
- ユーザーが構築される抽出される要素のリングバンド値を変更するとき、PC-DMIS はグラフィック表示ウィンドウを更新するようになりました。PCD-220100 を参照してください。
- ユーザーが **[構築される抽出される要素]** ダイアログボックスにある **[法線が外側にある点を削除]** チェックボックスをオンにすると、PC-DMIS はグラフィック表示ウィンドウで候補点を更新するようになりました。PCD-220116 を参照してください。
- ユーザーが現在のアライメントを使用するとき、PC-DMIS は構築され抽出される要素のクリッピング領域を適切な場所に描画するようになりました。PCD-220401 を参照してください。
- PC-DMIS は、測定ルーチンの単位がインチのとき、編集ウィンドウに構築される抽出される要素の正しい CAD オフセット値を表示するようになりました。  
PCD-220971 を参照してください。
- ユーザーが CAD 表面を選択して構築される抽出される平面を作成するとき、PC-DMIS は適切に角度ベクトルを保存し、それを要素によって配置するようになりました。PCD-221706 を参照してください。
- レーザー自動ならびに構築される抽出される円錐、円筒、平面および球の CAD オフセット境界をグラフィック表示ウィンドウに表示できるようになりました。**[要素の構築]** ダイアログボックスにある **[CAD オフセット]** チェックボックスをオンにすると、PC-DMIS はオレンジ色の分離した点をグラフィカルに更新して、それらの点が CAD オフセット境界内部にのみ描画されるようにします。PCD-221707 を参照してください。

- ユーザーが [自動要素] ダイアログボックスにある [リングバンド] チェックボックスをオンにするとき、PC-DMIS は自動レーザーおよび抽出されるレーザー要素の要素計算エラーを返さなくなりました。PCD-221726 を参照してください。

## ESF (VWMP)

- ユーザーが編集ウィンドウで同じポイントクラウドから ESF (VWMP) 要素を削除すると、PC-DMIS はグラフィック表示ウィンドウでポイントクラウドを非表示にしなくなりました。PCD-163217 を参照してください。
- CAD モデルが隣接する表面間に空の領域を表示するとき、ユーザーは ESF (VWMP) 要素をプログラムできるようになりました。PCD-219756 を参照してください。
- ユーザーが BH ESF (VWMP) 要素を測定するとき、PC-DMIS は各測定ルーチン実行後、回避移動に適切に対応するようになりました。PCD-221205 を参照してください。

## GD&T 測定結果

- 幾何公差コマンドで、構築されるオフセット線を 1 次 (主)、2 次または 3 次データムとして参照できるようになりました。PC-DMIS は表面上でこの線を解決済みの線として扱います。PCD-208745 を参照してください。
- ユーザーが幾何公差コマンドによって、あるいは同心度 (軸の方法) または位置をレポートするときに考慮される要素として参照するとき、PC-DMIS は第 2 または第 3 データム要素として単一点自動円を許容するようになりました。PCD-210303 を参照してください。
- ユーザーは幾何公差コマンドを使用するとき、ISO 同心度公差の MMB または LMB でデータムを参照できるようになりました。PCD-217553 を参照してください。
- ユーザーが幾何公差コマンドを含む測定ルーチンを開くときの PC-DMIS の性能が向上しました。PCD-217597 を参照してください。
- 円パターンの位置幾何公差の結果を XML 統計ファイルに出力するとき、そのパターンに関連するすべての円についての結果を表示できるようになりました。PCD-217759 を参照してください。
- ユーザーが曲線をスキャンし、非常に小さな公差で動的プロファイルを評価するとき、PC-DMIS は測定値を変更しなくなりました。PCD-219031 を参照してください。
- ヒットが断面になく、局所的サイズが位置、方向およびぶれ公差でオンであるとき、PC-DMIS は的確な警告メッセージを表示するようになりました。PCD-220986 を参照してください。
- PC-DMIS は幾何公差コマンドでの点の最大数を 50000 から 200000 に増やしました。PCD-221236 を参照してください。
- ユーザーが [幾何公差] ダイアログボックスで特定の寸法公差を入力しなければなないタイミングを PC-DMIS はユーザーに通知するようになりました。PCD-221759 を参照してください。

- ユーザーは同時公差コマンド作成時にデータムのない線輪郭度公差を選択できなくなりました。PC-DMIS は移行中に同時公差から現在の測定ルーチン内のデータムのない同時線輪郭度公差を削除するようになりました。PCD-221860 を参照してください。
- PC-DMIS は構築される中点を ISO または ASME の第 3 データムとして、1D 幅要素を ISO の第 3 データムとしてそれぞれサポートするようになりました。また、ISO の一定距離 (DF) 修飾子を表示できるようになりました。PCD-222277 を参照してください。
- ユーザーが [幾何公差] ダイアログボックスの [レポート] タブにある [データムのサイズをレポート] を選択しないとき、PC-DMIS はレポートにサイズ値を表示しません。PCD-222543 を参照してください。

## ヘルプ/文書

- PC-DMIS ヘルプはオペレータのコメントで使用される .avi ファイルに Microsoft Video 1 コーデックが必要であることを示すようになりました。これには、そのコーデックでの .avi ファイルを作成するための可能な一部の解決策も含まれます。PCD-162664 を参照してください。
- グラフィカル分析向けの [寸法] ダイアログボックスにある [グラフィカル] チェックボックスに関するテキストおよび画像を的確に表示できるようになりました。
- イタリア語での「Hexagon 社のテクニカルサポートに問い合わせる」トピックにおける適切なサポート連絡先情報を表示できるようになりました。PCD-219251 を参照してください。
- 「幾何公差」章の「線のプロファイル」および「表面のプロファイル」トピックにある更新された一部の例を表示できるようになりました。PCD-219600 を参照してください。
- HR-X3-P プローブチェンジャーに関する PC-DMIS ヘルプに、コレットで最初のヒットを取得する場所が明確に記載されました。PCD-219605 を参照してください。
- PC-DMIS ヘルプはグラフィック表示ウィンドウのショートカットメニューにおける旧式の XactMeasure の [要素コントロールフレームの作成] オプションに関する情報を表示しなくなりました。このオプションは PC-DMIS 2020 R2 では削除されました。PCD-220106 を参照してください。
- PC-DMIS ヘルプには、「5-ウェイのカスタマイズ可能なスタープローブの構築」トピックにあるプローブチップのオフセットの長さに関する情報が追加されました。PCD-220118 を参照してください。
- PC-DMIS ヘルプは、以下の ASME および ISO の有効な入力要素が同一であることを表示するようになりました: 1D 幅、2D 幅、3D 幅、円、円筒および球。PCD-221848 を参照してください。
- PC-DMIS ヘルプは一定距離 (DF) ISO 修飾子に関する詳細情報を提供するようになりました。この修飾子は平面円筒スロットタイプのデータム参照フレームの挙動を変更して、パートの機能を綿密にシミュレーションできるようにします。PCD-222277 を参照してください。

- PC-DMIS ヘルプは、サポートされている言語の印刷可能なマニュアルをインストールしてそれにアクセスする方法に関する的確な指示を提供するようになりました。PCD-222336 を参照してください。

## HxGN Robotic Automation

- PC-DMIS は測定ルーチン実行後にロボット自動操作実行マネージャーへの公差範囲外寸法に基づいて合格または不合格の情報を送信するようになりました。この情報は実行マネージャーがプレイリストを適応させるのに役立ちます。PCD-220166 を参照してください。
- 特定の CAD モデルを含む測定ルーチンを HxGN Robotic Automation にエクスポートするとき、アプリケーションエラーが発生しなくなりました。PCD-221918 を参照してください。

## Laser

- ユーザーが [スキャンの種類] 一覧でスキャンの種類を切り替えるとき、PC-DMIS は [レーザースキャン] ダイアログボックスのサイズを増大させなくなりました。PCD-216715 を参照してください。

## 旧式の寸法

- [位置] ダイアログボックスにある [半径として表示] チェックボックスをオンにすると、Excel フォームレポートに正しい測定値を表示できるようになりました。PCD-219033 を参照してください。

## 測定される要素

- 既存の点または他の測定された要素のグラフィックによって、CAD モデルで選択する新しい測定される要素をプログラムできるようになりました。e PCD-222567 を参照してください。

## メッシュ

- *MESHSELECTION* メッシュ演算子からの構築される BF または BFRE 円を作成できるようになりました。PCD-210643 を参照してください。
- メッシュインポートコマンドの単位 (mm/インチ) を選択できるようになりました。PCD-212531 を参照してください。
- PC-DMIS はメッシュカラーマップに関してグラフィック表示でメッシュ ID を非表示にするようになりました。PCD-216119 を参照してください。

## パターンの貼り付け

- ユーザーが [パターン設定] ダイアログボックスにある [デフォルトのプレフィックスを使用] チェックボックスをオンにすると、PC-DMIS は要素名のデフォルトのプレフィックス ID を設定して、曲線に沿ったパターンの貼り付けを適用するようになりました。PCD-210555 を参照してください。

- パートのアライメントが CAD アライメントと異なる場合でも、PC-DMIS は「パターンの貼り付け」を適切に適用するようになりました。PCD-211998 を参照してください。
- 「パターンの貼り付け」を使用するとき、曲線に沿ったパターンを ESF (VWMP) 要素に適用できるようになりました。PCD-211999 を参照してください。
- 回転の中心を使用したパターンの貼り付けがさまざまな作業平面で正しく機能するようになりました。PCD-215958 を参照してください。
- パターンの貼り付けのミラー操作の直後に操作を実行するとき、曲線に沿ったパターンの貼り付けが適切に機能するようになりました。PCD-218453 を参照してください。
- 曲線に沿ったパターンの貼り付けに適用されるとき、[パターン設定] ダイアログボックスの [ステップ] ボックスに任意の値を入力できるようになりました。また、PC-DMIS は定義された貼り付けサイクル数を表示して、ユーザーが定義されたステップ値が適切であるかどうかを判断するのを助けます。PCD-218680 を参照してください。
- [パターン設定] ダイアログボックスの [曲線] タブにある [ステップ] ボックスにより多くの小数点以下の桁を入力できるようになりました。PCD-220764 を参照してください。

## ポイントクラウド

- レーザースキャンを実行して性能を最大にすると、PC-DMIS はカラーグラディエーションバーを非表示にするようになりました。PCD-160262 を参照してください。
- [点情報の編集] ダイアログボックスを開くとき、PC-DMIS はヒットの一覧を自動的に表示しなくなりました。これによって、COP/MESH コマンドまたは COP/MESH 演算子における多数のヒットを含む要素の性能上の問題が回避されます。要素一覧から選択するとき、選択した要素からのヒットが表示されるのに長い時間が掛かる場合、動作を中止することができるようになりました。PCD-187690 を参照してください。
- 設定エディターアプリケーションにおける [ポイントクラウド] セクションで [LaserScanningGraphicsRefreshIntervalMilliseconds] エントリを表示できるようになりました。このエントリはレーザースキャンを実行するとき、グラフィック表示ウィンドウのリフレッシュ速度 (更新頻度) を変更するのに役立ちます。PCD-216108 を参照してください。
- 点、表面または厚さカラーマップコマンドを作成した直後に、グラフィック表示ウィンドウにグラデーションスケールを表示できるようになりました。PCD-216295 を参照してください。
- 3D PDF レポートで点カラーマップを表示できるようになりました。PCD-218762 を参照してください。
- レーザー要素の部分的実行の後に測定ルーチンを保存すると、ファイルサイズが縮小されるようになりました。

## Portable

- PC-DMIS は高解像度モニターに [ポータブルスキャンウィジェット] ツールバーを適切に表示するようになりました。PCD-215515 を参照してください。
- RA8 ポータブルアームに接続される AS1 センサーを使用するとき、PC-DMIS は [ポータブルスキャンウィジェット] ツールバーを表示するようになりました。PCD-216520 を参照してください。
- リストディスプレイに長い要素名を正しく表示できるようになりました。PCD-221180 を参照してください。

## プローブ

- ユーザーが校正ヒットを取得する前に、PC-DMIS は HP-THD プローブに関する幾何形状情報をコントローラに送信するようになりました。これが発生するのはプローブを同じ名前で編集し、校正を実行した後に [プローブユーティリティ] ダイアログボックスを閉じる時です。PCD-158192 を参照してください。
- PC-DMIS は、すでに mm になっているプローブデータのインチから mm への間欠的な不適切な変換を行なわなくなりました。PCD-218568 を参照してください。
- PC-DMIS は、クリーンインストールまたは新規インストール後に、ビジョンズーム光学装置の同焦点/同心校正補正向けに ProbeQualVisionParCalibrationEnable エントリのデフォルト値を 0 に設定しなくなりました。PCD-220183 を参照してください。

## 保護

- PC-DMIS では、ユーザーは認証済み測定ルーチンを以前のバージョンに保存できなくなりました。PCD-216664 を参照してください。

## Q-DAS 設定器

- ドイツ語の DFQ ファイルにおける K0004 の適切な日付および時刻フォーマットを表示できるようになりました。PCD-191754 を参照してください。

## レポート作成

- CAD レポートテンプレートにおける CAD 表面上の測定された要素を表示できるようになりました。PCD-218311 を参照してください。
- [出力構成] ダイアログボックスにある [空を削除する] および [トレースフィールドをレポートする] チェックボックスを選択すると、PC-DMIS はトレースフィールド値を CSV ファイルに出力するようになりました。PCD-219817 を参照してください。
- レポートウィンドウでカスタムレポートを開くと、COP 断面のビューを適切に表示できるようになりました。PCD-222213 を参照してください。

## 粗さの走査

- 粗さスキャンコマンドを削除または改名すると、PC-DMIS は粗さコマンドの名前を変更するか、または関連する評価コマンドのコマンドを赤色で表示します。PCD-217416 を参照してください。

## 要約モード

- 要約モードですべての ESF (VWMP) 要素を表示および非表示にすることができるようになりました。PCD-213472 を参照してください。
- ユーザーが要約モードで COP コマンドを新しい位置にドラッグするとき、PC-DMIS は 2 つの COP コマンドを作成しなくなりました。PCD-217481 を参照してください。
- NX DCI CAD モデルをインポートするとき、表面のエッジを表示できるようになりました。PCD-218533 を参照してください。
- 要約モードで非連続のコマンドを選択するとき、PC-DMIS は切断操作を許容しなくなりました。PCD-218797 を参照してください。
- PC-DMIS で「元に戻す」操作を実行して、すべての従属寸法コマンドを元に戻すことができるようになりました。PCD-219231 を参照してください。
- PC-DMIS は要約モードにあるとき手動から DCC モードへの切り替え状態を変更しなくなりました。ユーザーがドッキングビューとドッキング解除ビュー間で切り替えを行います。PCD-222197 を参照してください。

## ツール変換機

- ユーザーが校正を開始する前に、PC-DMIS は、2 つ以上の通常 (非-HD) ポートを持つ HR-R ラックを検証するようになりました。PCD-169964 を参照してください。

## Vision

- PC-DMIS ビジョンプローブ光学校正では迅速に実行が行なわれ、焦点校正中に画面が黒くなる期間が短くなりました。PCD-207735 を参照してください。
- 編集ウィンドウで小数点の前に 0 がない小数でもそれを入力すると、PC-DMIS はそれを正しく反映します。PCD-211925 を参照してください。
- スキャンがデータを収集しないとき、または厚さ曲線の計算が行なわれないとき、PC-DMIS は公称上の点データではなく生データを表示するようになりました。PCD-219713 を参照してください。
- 厚さスキャンで CAD モデルをクリックすると、PC-DMIS はポリラインを適切に作成するようになりました。PCD-220164 を参照してください。

## このリリースに関する情報

Hexagon Manufacturing Intelligence 社は自信を持って新バージョンの PC-DMIS をお届けします 2022.1。PC-DMIS は、完全な製造プロセス制御ソリューションを開発するためのソフトウェアの側面を統合します。PC-DMIS を使用すると、座標測定機 (CMM)、ポータブル測定アーム、レーザートラッカーから収集された寸法測定データが組織内を流れることができます。

このバージョンの試験は非常に重要です。このプロセスについては、お客様に様々な試験コンポーネントについて理解してもらえよう、これから十分に説明します。

テストは 2 つの部分から構成されます。これらは機能試験と統合試験として説明されます。

- 試験作業の大部分は機能エリアで行われます。これは、ソフトウェアの核となる特定の機能が、使用する機械の種類に関わらず正しく動くかどうかを判断する試験です。
- 統合試験とは、基本的に特定種類の機械とのインターフェイスの試験です。

理想的なシナリオでは、Hexagon Manufacturing Intelligence 社は、現場で動作しているソフトウェアを実行しているすべてのハードウェアの少なくとも 1 つにアクセスできます。ただし、実際にはこれは不可能です。この統合試験計画は、利用可能な種類の測定機の数だけ実施されます。

PC-DMIS のインストール後にシステムに問題が起きた場合 2022.1、統合に関する問題である可能性があります。これが本来の性質の問題である場合、おそらくテストされていない設定で初めて使用した直後に明らかになる場合がよくあります。統合に関する問題を報告するには、「[Hexagon Manufacturing Intelligence 社へ問い合わせる \[50\]](#)」を参照してください。商用リリースでそうした問題が表面化した場合、それを修正することが最優先です。

現在、ソフトウェアの以前のバージョンをインストールしているソフトウェアの既存ユーザーの場合、PC-DMIS2022.1 を新しいディレクトリにインストールすることをお勧めします。それによって、新しいバージョンに問題がある場合でも現在のバージョンを使い続けることができます。

## 幾何公差コマンドに関する重要情報

PC-DMIS 2020 R2 のリリースでは、XactMeasure (要素コントロールフレーム) を完全に置き替える幾何公差コマンドを導入しました。この幾何公差コマンドは XactMeasure を凌ぐ多くの改善点とともに下記のメリットを提供します。

- GD&T 規格の最近の改訂をサポートします。寸法分析を管理する規格は、正確で一貫性のある方法でデータムを定義し、プロファイルに新しい単一値の定義を提供するように更新されているか、または近々更新される予定です (ASME Y14.5 – 2009、ASME Y14.5 – 2018、ASME Y14.5.1 - 2019、ISO 1101: 2017、ISO 5459: 2011)。

- 要素コントロールフレームおよび関連する要素の測定方法の強力でインテリジェントな妥当性チェック

新しい幾何公差コマンドで XactMeasure を置き替えて、この最近バージョンで測定ルーチンを開くとき PC-DMIS はレビュー (確認) および移行を自動的に実行するようになりました。

この自動レビュー (確認) を行う理由は、場合によっては元のルーチンに無効な GD&T または測定方法が存在することがあるためです。

この最新バージョンでは PC-DMIS は自動的にチェックを御困って、適切な GD&T コマンドの作成のみを許可するようになりました。これは以前のバージョンではあまり厳密には適用されていませんでした。現在、この最新バージョンでは測定ルーチンを開くと、PC-DMIS は妥当性チェックを行い、下記のいずれかのケースが発生します。

- 元の測定ルーチン内のすべての XactMeasure GD&T コマンドが有効であるか、またはこれらのルーチンに XactMeasure コマンドが存在しない (従来の寸法は影響を受けなままになります)。このケースでは移行が正常に行なわれ、それ以上の操作を必要としないことを示す移行レポートを PC-DMIS は生成しません。
- 元の測定ルーチンに無効な XactMeasure GD&T コマンドまたは測定方法が含まれている。このケースでは PC-DMIS は詳細な移行レポートを生成して、PC-DMIS が行なった変更に加えてさらに注意が必要なその他の任意項目をユーザーに通知します。



### 重要

すべてのケースにおいて以前のバージョンとの互換性を維持するために、PC-DMIS は元の未変更の測定ルーチンを保持し、下記フォルダーに残しておきます。

C:\Users\Public\Documents\Hexagon\PC-DMIS\

PC-DMIS が移行を実行するときは常に、それらの測定ルーチンのプローブヒットおよびプローブパスは影響を受けません。

移行プロセスを個別のオフライン操作として実行した後に、生産機械を更新することをお勧めします。ユーザーに対してこれを支援するために、Hexagon 社は移行レポートの存在に基づいて測定ルーチンを分類するユーティリティを作成しました。

- 移行レポートを生成するルーチンはプログラマーが確認する必要があります。
- 移行レポートのないルーチンは確認する必要がなく、生産にリリースすることができます。

このオフライン移行を支援するために、Hexagon では必要に応じて期間限定で PC-DMIS に対するオフラインサブスクリプションへの無料アクセスを提供することができます。

詳しくは最寄の Hexagon 代理店にお問い合わせください。

## 推奨システム要件

### オペレーティングシステム



#### 重要

**Windows 7 のユーザーへの注意！**。PC-DMIS 2021.2 は、Windows7 をサポートする最後の PC-DMIS バージョンです。コンピュータのオペレーティングシステムを Windows8 または Windows10 に更新してください。

PC-DMIS 2022.1 は 64 ビットの Windows 10、Windows 8.1 および Windows 8 の下で動作します。その他のオペレーティングシステムには対応していません。



#### 注記

PC-DMIS を DCC モードで実行する HP-L システムおよび RS-SQUARED センサーを使用するシステムでは、64 ビットの 4 コア以下の Windows 10 Pro コンピュータを使用する必要があります。

PC-DMIS の大部分のバージョンでサポートされるオペレーティングシステムの一覧が以下のリンクにあります。

<https://support.hexagonmi.com/s/article/Windows-OS-Compatibility-Listing-for-PC-DMIS>



#### 重要

サードパーティ製のドライバーを使用する場合、必ず最寄の Hexagon Manufacturing Intelligence 社の担当に連絡して、オペレーティングシステムの互換性を確認してください。

仮想マシン ( VM ) 内での PC-DMIS の実行は、VM が OpenGL 3 以上をサポートしている場合にのみサポートされます。



## 注記

Matrox の Framegrabber PC- DMIS Vision ハードウェア部品は、64 ビットのオペレーティング・システムを支援していません。

## Microsoft .NET Framework

Windows 対応の Microsoft .NET Framework 4.6.1。Microsoft .NET Framework 4.6.1 をお持ちでない場合は、PC-DMIS インストーラがそれをインストールします。

## RAM

- 4 GB 以上の RAM 推奨。

CAD データファイルのサイズと使用するテセレーション乗数値は必要なメモリの量に影響を与えます。これらは共にモデルを表示するのに必要なモザイク面の量に影響します。使用するテセレーション乗数値が小さいほど、面のために多くのメモリを必要とします。大きな CAD モデルでは、「メモリの容量不足」エラーが起こる可能性があります。これが発生した場合、現在の PC-DMIS セッションは不安定な状態になるため強制終了しなくてはなりません。

デフォルトのテセレーション乗数値は 1.0 です。テセレーション乗数を 0.1 に設定するとデフォルト値の 1.0 よりも必要なメモリ容量が 10 から 20 パーセント増加します。さらにテセレーション乗数値を 0.01 に下げると必要なメモリ容量はさらに 50 から 65 パーセント増加します。

- 1GB のビデオ RAM
- 64 GB の RAM デュアルチャンネル @1063 MHz DDR4-2666 MHz ECC RDIMM メモリ (HP-L システムと RS-SQUARED センサーを使用するシステム向け)

## CPU

- 2 GHz 以上のクアッドコアプロセッサ
- HP-L システム向け Intel Xeon W-2223 プロセッサ (3.6GHz、3.9GHz)
- RS-SQUARED センサーを使用するシステム向け Intel Xeon Processor E3-1505M (3.00 GHz)
- 6 コアハイパースレディングが有効になっている Intel Core i7 第 9 世代以降 (例えば、i7-9xxxHx) (HP-L システムおよび RS-SQUARED センサーを使用するシステム向け)

## グラフィックス

以下の推奨最小値を上回る一般的なグラフィックカード。

- GPU メモリ 2 GB DDR3\*
- 6 GB メモリ 帯域幅 29.0 GB/s (HP-L システム向け)
- CUDA Cores 384
- オープン GL 3.0
- NVIDIA Quadro P5000 (4 GB) (HP-L システムおよび RS-SQUARED センサーを使用するシステム向け)
- RS-SQUARED センサーを使用するシステム向け AC または AX タイプ Wi-Fi カード

\* RS4 レーザーセンサー以降のモデルでは、4 GB 以上の DDR3 を搭載した GPU が必要です。

グラフィックドライバは OpenGL 3.0 またはそれ以降のバージョンをサポートしている必要があります。ドライバがオープン OpenGL 3.0 を支援しないか、またはグラフィックス・ドライバの使用時間が 3 年以上になれば、PC-DMIS が開始された時に警告メッセージが現われます。

## ハードドライブ

- 2 GB のハードドライブ空き容量に加え、使用される最大の CAD ファイルの 8 倍の仮想メモリを割り当てるべきです。
- SSD ドライブ、HDD 10K、または 2 つのディスクから構築した RAID 0 モード(高性能ハードディスクドライブ)
- 128 SSD、128 SSD RAID、1 TB HDD

## ディスプレイ

1920 x 1080 以上の画像解像度を推奨



### 注記

低照明条件下で高解像度モニターを使用する場合、一部の PC-DMIS UI エlementが見えにくいことがあります。その場合は以下のオプションを実行してみてください。

- PC-DMIS のホーム画面で、UI の視認性が最も良くなるテーマ (明 または 暗) を選択します。PC-DMIS のテーマの変更方法について詳しくは、オンラインヘルプにある「[テーマの変更](#)」を参照してください。
- 周辺照明を明るくします。

## 接続性

- シリアルポート×1
- 3つのイーサネットポート。これは地域のニーズを考慮して、一つのポートはコントローラで通信に必要されて、もう一つのポートはイントラネット/インターネット通信に必要とされる CMM のシステムに限定されない特定のインストールに必要な場合があります。
- 2つの USB ポート
- 適切に構成された LMS ライセンスまたは HASP キー (物理 USB ポートロック)
- Intel チップセットを使用した LAN ポート (例えば、I219) (HP-L システム向け)



### 注記

HASP キーは、汎用のデータ記憶の働きをしないので、コンピュータから任意のデータの (ダウンロードする) 保存に、HASP キーを使うことができません。同様に、コンピュータ上の任意データをアップロードするのに HASP キーを使用することはできません。さらに、Hexagon Manufacturing Intelligence 社のアプリケーションだけが HASP キーに読み書きできますが、他のアプリケーションにはこの能力がありません。その結果、HASP キーを使用してコンピュータからデータをロードすること、およびコンピュータへデータアンロードすることはできません。

## ファームウェア配布済コントローラ (FDC) の接続

PC-DMIS は、次のパラメータを介して FDC との接続を確立します：

- コントローラアドレス - 100.0.0.1
- PC-DMIS コンピュータアドレス - 100.0.0.2
- サブネットマスク - 255.255.255.0
- ポート - 1234

Pcdlrm.exe および PC-DMIS プロセスはポート 1294 で信号を取ります。

使用されている他のいくつかのポートは 138 と 1900 です。ポート 1900 は UDP ポートとして一覧表示されています。

## LMS ライセンス

ノードロックライセンス用のライセンス検証サーバーと ClmAdmin ユーティリティ：

<https://licensing.wilcoxassoc.com/flexnet/services>

Flexnet LmAdmin64.exe を備えるフローティングライセンスサーバーは、サーバーのポート 27000-27009 を使用します。ポート 8090 および以前のバージョンの LocalHost サーバーのデフォルトはポート 8080 です。これらのポートは、ライセンスサーバーをインストールするとき、またはサーバーインターフェイスを介して定義できます。これらは、測定機に接続していない場合のオフラインライセンスのみです。

## Hexagon Universal Updater

WebSocket URL - ws://webupdater.hexagonmi.com

Server - http://webupdater.hexagonmi.com/v2/db.live

Username - Null

パスワード - Null

ポート - 80

ファイル - updates\_v4.20190702090658181.db

ソフトウェアの更新時にオフラインヘルプのインストールを選択すると、ポート 443 で 2 番目のリモートアドレスが開きます。このポートはライセンスを確認します。

## CrashSender1403.exe

この実行可能ファイルは、PC-DMIS クラッシュレポートユーティリティツール用です。Windows イベント管理のため、このオプションをオフにすることができます。

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2019 R1 64-bit\Launcher\HexagonLauncher.exe

LauncherPC-DMIS.config/nocrashdump

いくつかの Hexagon 製品は、Pulse、Notification Center/Message Lights、Smart Factory などのリモート接続を確立する必要があります。

## アンチウイルスソフトウェア

Hexagon Manufacturing Intelligence 社は Sophos アンチウイルスツールを使用して PC-DMIS 2022.1 をテストしました。他のアンチウイルスツールの性能はユーザーが確認する必要があります。

<http://sophos.com/products/enterprise/endpoint/security-and-control/>

## 三次元測定機に RS-232 通信を使用するソリューション

RS-232 通信を使用している古い CMM 機種を持つ新規または既存のコンピュータで PC-DMIS2022.1 をインストールしている場合、お使いのコンピュータにこれらのソリューションのいずれかをインストールする必要があります。

- 外部 RS-232 シリアル-USB アダプタケーブル及びシリアル-USB アダプタケーブルのドライバ

- シリアルポートを備えた内部シリアルアダプタカード

## ソフトウェアのインストール

ソフトウェアをインストールするには下記のステップに従います:

### ステップ 1: システムおよびハードウェア要件を確認

新しいバージョンをインストールする前に、「[推奨システム要件 \[22\]](#)」に記載されたシステムおよびハードウェアの要件を満たしているか確認してください。また、インストールが正常に行われるための USB ポートロックまたは有効な LMS ライセンスを持っている必要があります。IT 専門家はこの情報に関して支援を行うことができます。

- コンピュータのプロパティを表示するには、この PC アイコンを強調表示して右クリックし、**プロパティ**を選択します。
- グラフィックカードの表示プロパティを確認するには、スタートに移動してコントロールパネルに移動し、**表示と設定**を選択します。

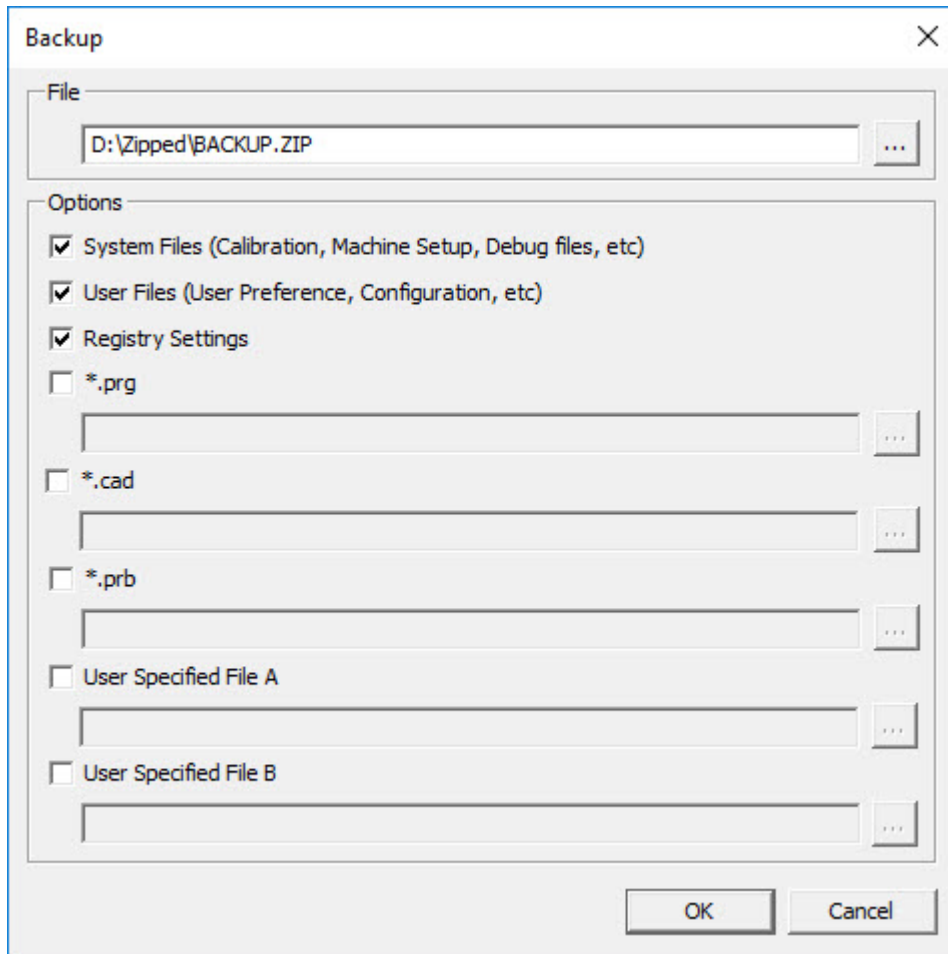
### ステップ 2: 管理者としてログイン

新しいバージョンをインストールし起動するには、まず管理者権限のあるユーザーとしてログインする必要があります。

### ステップ 3: 既存の設定をバックアップ

以前のバージョンからの設定をバックアップします。デフォルトでは、pcdlrn.ini ファイルに保存されている設定が非常に古いバージョンのソフトウェアであっても、PC-DMIS 2022.1 は同じコンピュータの以前のインストールから既存の設定を移行しようとします。

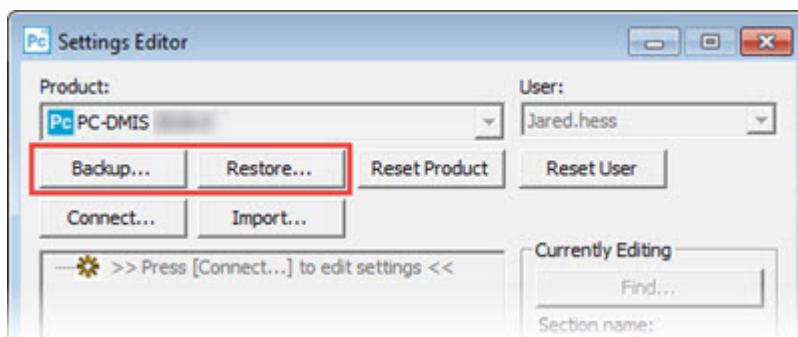
- 現行のバージョンが pcdlrn.ini ファイルをその設定に使用される場合は、pcdlrn.ini ファイルをバックアップしてください。このファイルは Windows のシステムディレクトリにあります。ファイルのコピーを安全な場所に保存します。
- 現行のバージョンが PC-DMIS セッティング・エディターを使用する場合は、PC-DMIS セッティング・エディターのデータをバックアップしてください。これを行うには、下記手順に従います。
  1. Settings Editor を起動して下さい。
  2. **バックアップボタン(またはエクスポート)**をクリックして、**バックアップダイアログボックス**を開きます。



バックアップのダイアログ ボックス

3. ファイルボックスでバックアップされたファイルの安全な保存先を定義し、ファイルに.zip 拡張子を付与します。
4. オプションエリアで、最初の 3 つのチェックボックスをオンにし、**OK** をクリックします。

コンピュータを交換したり、別のコンピュータにある設定を転送する場合は、Settings Editor のバックアップと復元ボタンを使用できます：



バックアップと復元ボタン

バックアップ及び復元に関する機能の詳細については、Settings Editor のマニュアルを参照してください。

## Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルのバックアップ

ユーザーが Brown と Sharpe Xcel CMM または Sharpe コントローラを使用する CMM を使用していて、新しいコンピュータに PC-DMIS 2022.1 をインストールする場合、以前のバージョンからの下記の CMM 測定機ファイルのコピーを安全な場所に保存します。

- comp.dat  
PC-DMIS 2013 MR1 から始めて、comp.dat ファイルは次のフォルダに移られます：  
C:\ProgramData\WAI\PC-DMIS\version

- downl.oad

これらのファイルは、オペレーティングシステムに関係なく、2013 MR1 以前のすべてのソフトウェアバージョンのインストール (ルート) ディレクトリにあります。

インストール (ルート) ディレクトリの場所は次のとおりです：

C:\Program Files\WAI\PC-DMIS version

3.7 の MR3 以下の PC-DMIS のバージョンについては、インストール(ルート)ディレクトリの位置は次のとおりです：

C:\PCDMISW

## DEA コントローラを実装している CMM の測定機ファイルのバックアップ

DEA または DEA 機械コントローラを実装している他の CMM を使用しており、PC-DMIS 2022.1 を新しいコンピュータにインストールする場合、旧バージョンから安全な場所に下記の CMM 機械ファイルのコピーを保存します(ファイルは CMM の機種によって変わります)。

- cosdat1.bin
- compens.dat  
PC-DMIS 2013 MR1 から始めて、compens.dat ファイルは次のフォルダに移られます：  
C:\ProgramData\WAI\PC-DMIS\version
- Fzyfile.txt
- Rcxfile.txt
- Rmxfile.txt
- 機種名に測定機のシリアル番号を備えた任意のファイル

これらのファイルは、オペレーティングシステムに関係なく、PC-DMIS 2013 MR1 以前のすべてのソフトウェアバージョンのインストール (ルート) ディレクトリにあります。

インストール ( ルート ) ディレクトリの場所は次のとおりです :

C:\Program Files\WAI\PC-DMIS *version*

3.7 の MR3 以降の PC-DMIS のバージョンについては、インストール(ルート)ディレクトリの位置は次のとおりです:

C:\PCDMISW

## ステップ 4 : ソフトウェアをインストールする

下記のステップは典型的なインストールの実行方法の説明です。異なるバージョンの PC-DMIS 2022.1 を実行する場合または追加オプションで作成されたカスタムをインストールする場合、インストール画面が異なる場合があります。さらに、ライセンスはさまざまなオプションで設定できます。

1. インストールメディア上のインストールファイルを検索するか、またはそれをダウンロードした場合は、ダウンロードされたファイルが保存されているディレクトリを開きます。インストールファイルの名前は次のとおりです :

**Pcdmis2022.1\_release\_##.#.###.#\_x64.exe**

# 記号は、バージョンとビルド番号を表します。

2. この実行可能ファイルを右クリックし**管理者として実行**をクリックして、インストールプログラムを開きます。
3. セキュリティ警告が表示される場合は、**実行**をクリックしてください。
4. 初期ライセンス画面で、ライセンス契約を読む上、**ライセンス契約条件に同意する**チェックボックスを選択します。
5. 下部のボックスで、インストールフォルダを定義できます。デフォルトでは、ファイルは次の場所にインストールされます :  
C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2022.1 64-bit


フォルダを変更するには、ブラウズボタン ( ■ ) をクリックしてフォルダを選択するか、ボックスに新たなパスを入力します。

6. ライセンス契約に同意したら、インストールフォルダを選択し次へをクリックしてライセンス取得画面を開きます。
7. ライセンス取得画面で下記のようにライセンスのタイプを選択します。
  - **LMS(ソフトウェア)ライセンス** - ソフトウェアライセンス(権利 ID と呼びます)をお持ちの場合、このオプションを選択します。このオプションの下のボックスに記入します。
  - **LMS ライセンスサーバー** - 接続するライセンスサーバーがある場合、このオプションを選択して、サーバーアドレスを入力します。
  - **HASP** - ユーザがポートロック (ライセンスされたオプションの付いた物理 USB デバイス)を持っている場合は、それがコンピュータに接続されていることを確認してから、このオプションを選択します。

LMS ライセンスの設定方法のヘルプについては、下記の「[LMS ライセンス設定 \[33\]](#)」を参照してください。

8. 次へをクリックします。
9. ソフトウェアの追加部品のインストールを選択します。カスタムインストールパスを選択した場合、追加のソフトウェアはデフォルトの測定ルーチンディレクトリ (通常は C:\Program Files\Hexagon\ ) にインストールされます。
  - **PDF Converter 5.0** - このサードパーティツールは PC-DMIS 2022.1 レポートを PDF 出力に変換します。  
ポータブルユーザーで適切なライセンスを持っている場合、ユーザーはデフォルトとしてポータブルインターフェイスを選択することができます。詳細については、PC-DMIS Portable マニュアルの「[切り替え可能なポータブルインターフェイス](#)」を参照してください。
  - **オフライン英語ヘルプ** - このオプションは英語 HTML5 ヘルプをステップ 14 で定義するインストールフォルダにインストールします。ヘルプにアクセスすると、PC-DMIS はインターネットベースのヘルプを使用しようとしませんが、インターネット接続を検出できない場合は、このオフライン代替ヘルプにアクセスしようとしします。[ヘルプ]メニューから[オフラインヘルプの使用]オプションを選択すると、インターネットに接続している場合でも、このオフラインの代替ヘルプにアクセスします。このオプションは、オフラインヘルプをまだインストールしていない場合に表示されます。オフラインヘルプをインストールし、後で PC-DMIS への更新をインストールすると、プロンプトを表示せずにヘルプへの更新が自動的に行われます。  
英語以外のオフラインヘルプが必要な場合は、「[言語パックからの英語以外のオフラインヘルプファイルのインストール \[48\]](#)」を参照してください。
  - **Hexagon 顧客体験向上プログラムに加入** - 製品を改良し、データを Hexagon Manufacturing Intelligence 社に送信するには、このチェックボックスを選択します。使用状況データが送信されないようにするにはチェックボックスをオフにします。このプログラムの詳細については、[Hexagon 顧客体験向上プログラム](#) のウェブサイトを参照してください。
10. [インストール] をクリックして、インストールを開始します。プログレスバーは全体の進展状況を表示します。
11. インストールが終了すると、結果画面に警告またはエラーがあれば表示されます。それには下記のオプションも含まれます。
  - **PC-DMIS 2022.164-ビットを起動する** - ここで、PC-DMIS 2022.1 を起動するには、このチェックボックスを選択します。このコンピュータでこのバージョンを初めてインストールする場合は、これを行ってエントリの設定を初期化する必要があります。詳細については、「[管理者特権 \[35\]](#)」を参照してください。
  - **リリースノートを表示 - 閉じる** をクリックした後、このリリースでの新規情報または変更点を説明する Readme.pdf を表示するにはこのチェックボックスをクリックします。
12. **閉じる** をクリックしてインストールプログラムを閉じます。
13. 手順 9 での[オフライン英語ヘルプ]チェックボックスをオンにした場合、ヘルプインストールプログラムが開き、オフラインヘルプがインストールされます。
14. 下部のボックスで、インストールフォルダを定義できます。デフォルトでは、ファイルは次の場所にインストールされます：

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2022.1 64-bit English Help

フォルダを変更するには、ブラウズボタン (  ) をクリックしてフォルダを選択するか、ボックスに新たなパスを入力します。

15. [インストール] をクリックして、インストールを開始します。プログレスバーは全体の進展状況を表示します。
16. インストールが終了すると、結果画面に警告またはエラーがあれば表示されます。**閉じる** をクリックしてインストールプログラムを閉じます。

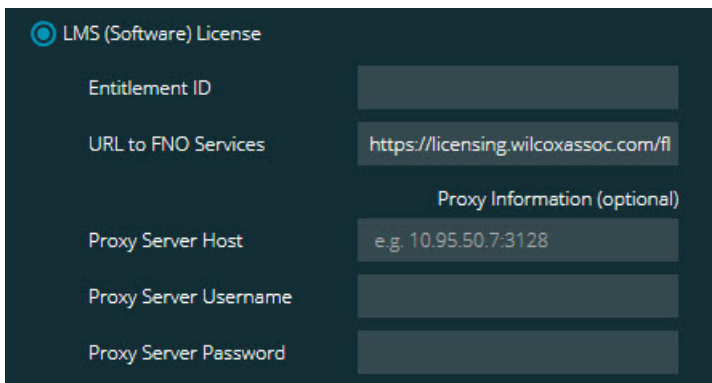
## LMS ライセンスのセットアップ

このトピックは以下を行う必要がある場合に情報を提供します。

- LMS(ソフトウェア)ライセンスの設定
- LMS ライセンスサーバーへの接続
- LMS ライセンスの更新
- コマンドラインからのインストーラへの LMS ライセンス情報の提供

## LMS (ソフトウェア) ライセンス

[ライセンス取得画面 \[31\]](#)で **LMS(ソフトウェア)ライセンス** を選択し、インストール中にユーザーのシステム内に有効なライセンスがない場合、下記のオプションを記入する必要があります。



## LMS (ソフトウェア) ライセンスのオプション

1. 次のオプションを完了します:
  - **権利 ID** - 権利 ID を保有している場合、発行された ID をボックスに入力するか貼り付けます。
  - **FNO サービスへの URL** - これはライセンスを検証する URL を示します。それは下記の URL であることを確認してください。  
`https://licensing.wilcoxassoc.com/flexnet/services`
  - **プロキシ情報** - インターネットに接続するためにプロキシサーバーが必要なネットワーク上にコンピュータがある場合は、IT 担当者に連絡してこの情報を入力してください。サーバーホスト、ユーザー名、およびパスワードを入力します。

2. 「権利 ID」を所持せずライセンスをオフラインで有効化する必要がある場合、CLM Admin アプリケーションを使用します。CLM Admin アプリケーションから、新しいライセンスを有効化するを選択し、画面上の指示に従います。



### 注記

CLM Admin アプリケーションの使用方法については、Hexagon Client License Manager (CLM)ソフトウェアのマニュアルを参照してください。これはお使いの言語のサブフォルダ(英語の en ディレクトリなど)で見つけることができます。

3. 次へをクリックします。インストールソフトウェアは、インターネットに接続してライセンスをアクティブにします。その後、LMS のライセンスを使用するために必要な FLEXnet ライセンスサービスをインストールします。

## LMS ライセンスサーバー



### LMS License Server オプション

ライセンスサーバーを使用する場合、ライセンスサーバーボックスでこの項目を選択してライセンスサーバー名を入力します。この行のテキストのフォーマットは **ポート番号@サーバー名** です。ここで、**ポート番号**はライセンスサーバーの TCP ポート番号で、**サーバー名**はサーバーの名前です。

デフォルトの TCP ポート番号は 27000 です。特定のポートを指定しない場合、ライセンスサーバーはデフォルトを使用します。例えば、以下は同じことを意味します：

@server1

27000@server1



### 重要

このオプションを使用する場合は、サーバーアドレスの前に「@」記号を置きます。「@」記号が中断されている場合は、インストールのプロセスは地元でライセンスを探そうとします。これはエラーに帰着する恐れがあります。

複数のライセンスサーバーを指定することもできます。セミコロンで区切ることができます。例えば、licenseserver1、licenseserver2、licenseserver3 というライセンスサ

サーバーが 3 台あり、すべてデフォルトの TCP を使用する場合は考えます。これらのライセンスサーバーは以下のようにすべて 1 行にまとめて指定することができます。

@licenseserver1;@licenseserver2;@licenseserver3

[リンクをテスト](#)

## LMS ライセンスの更新

ライセンスのセットアップが完了し、PC-DMIS 2022.1 をインストールすると、起動時および起動後 8 時間ごとにライセンスの更新が確認されます。ライセンスの更新が利用可能な場合、以下の通知が表示されます。

### PC-DMIS

PC-DMIS ライセンスのアップデートがあります。ここでそれらを適用するには、PC-DMIS を再起動する必要があります。すぐに更新を適用しますか？

更新プログラムを適用するには、[はい]をクリックします。[いいえ]をクリックすると、PC-DMIS 2022.1 は 8 時間動作するごとに、または次回起動時にメッセージを表示します。

- オプションが要素を追加する場合、変更を適用する選択を与られます。変更を適用すると、ポップアップメッセージがシステムトレイに表示されます。
- オプションまたは要素を削除すると、PC-DMIS 2022.1 の再起動を要求するメッセージが表示されます。それを知らせるポップアップメッセージもシステムトレイに表示されます。
- オプションが機能が旧式の場合、それは自動的に削除されます。



### 注記

更新適用後に、PC-DMIS が正しく機能することを保証するために、PC-DMIS を再起動する必要があります。

**コマンドラインからのインストーラーに LMS のライセンス情報を提供する**  
LMS 許可の情報は、コマンドラインのパラメーターによってインストーラーへ送ることができます。詳細は、付録 A で「[コマンドラインからのインストーラーに LMS ライセンス情報を提供する \[50\]](#)」を参照してください。

### 管理者権限についての説明

2012 より前のバージョンの PC-DMIS では、(最後に使用したプローブ、リスト角度などのアイテム) いくつかのシステム設定がコンピュータの全ユーザーで共有されていたために、管理者として PC-DMIS を実行することが必要です。これらの設定は Windows レジストリの CURRENT\_USER セクション (ユーザー固有の設定) ではな

＜ LOCAL\_MACHINE セクションに格納されている必要がありました。  
LOCAL\_MACHINE セクションに格納されている設定を変更するためには管理者権限が必要です。

2012 以降の PC-DMIS バージョンでは、PC-DMIS に使用される設定メカニズムが変更され、インストールの最後に初めて実行する際に管理者アクセス権を必要とするのみになりました。それ以降は標準のユーザーアクセス権で十分です。

PC-DMIS インストーラは、セットアッププロセスが管理者権限で実行されるように要求するフラグをセットアップ実行ファイル

(Pcdmis2022.1\_release\_###.#.###.#\_x64.exe) に組み込んでいます。現在のユーザー権限がそれより低い場合、セットアッププログラムは管理者権限を持つユーザー名とパスワードの入力を求めるプロンプトを表示します。

インストールを完了し、初めて PC-DMIS 2022.1 を実行するときは管理者権限で起動しなくてはなりません。[\[インストール完了後に PC-DMIS 2022.1 64 ビットを起動する\] チェックボックス](#)をオンにした場合、インストールが完了したときに PC-DMIS 2022.1 はインストーラの元の権限レベルを PC-DMIS に引き渡すことでこれを自動的にに行います。

ただし、このチェックボックスをマークしない場合、[ステップ 6](#) で説明するようにショートカットを右クリックして [\[管理者として実行\]](#) を明示的に選択する必要があります。

PC-DMIS 2022.1 で必要とされるファイルシステム権限についての詳細は、付録 B にある「[必要なユーザーアクセス権限 \[51\]](#)」を参照してください。

## ステップ 5: インストール後にファイルをコピー

これらのファイルが利用可能な場合、それらを旧 PC-DMIS のインストールディレクトリから新バージョンをインストールしたディレクトリにコピーします:

- sysparam.dat
- Download
- Fzyfile.txt
- Rcxfile.txt
- Rmxfile.txt

PC-DMIS 2010 MR2 バージョンから、PC-DMIS のより新しいバージョンがインストールされる場合、PC-DMIS は自動的にプログラム データ ファイル ディレクトリーに共通のシステムファイルをコピーします。

volcomp 方法 13(ASI)および 14(BNS)と共に使用される comp.dat、compgrid.at、comp.enc、および compens.dat volcomp ファイルは、プログラム・データファイル・ディレクトリーにある必要があります。PC-DMIS の新しいバージョンがインストールされる場合、これらのファイルは、自動的に新しいバージョンのプログラムのデータファイルのディレクトリにコピーされます。このディレクトリの既定のパスの場所

については、PC-DMIS Core ドキュメントの「ファイルの場所について」を参照してください。

容積補償のファイル及びおよびセットアップに関する追加情報については、機械インターフェースのインストール説明書(MIIM)を参照してください。

## Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルの複製

ユーザーが Brown と Sharpe Xcel CMM、またはシャープコントローラを使用する CMM を使用していて、新しいコンピュータに PC-DMIS 2022.1 をインストールした場合、新しいコンピュータ上の下記の場所にバックアップされた CMM 機械のファイルをコピーします。

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS version

これらのファイルの詳細については「[Xcel CMM または Sharpe コントローラの測定機ファイルのバックアップ \[30\]](#)」を参照してください。

## DEA コントローラを実装している DEA CMM の測定機ファイルの複製

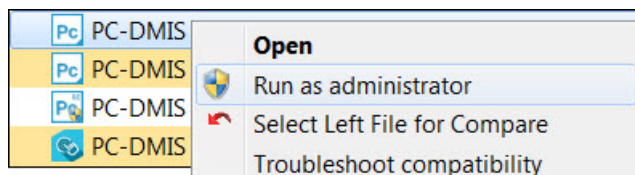
ユーザーが DEA 機械のコントローラを実装している DEA 型の CMM を使用していて、新しいコンピュータに PC-DMIS 2022.1 をインストールした場合に、新しいコンピュータ上の下記の場所にバックアップされた CMM 測定機のファイルをコピーします。

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS version

これらのファイルの詳細については「[DEA コントローラを実装している DEA 型の測定機ファイルのバックアップ \[30\]](#)」を参照してください。

## ステップ 6: PC-DMIS の初回起動

1. PC-DMIS 2022.1 を最初に実行するときは、[スタート] に移動して **PC-DMIS 2022.1 64-bit** と入力します。
2. [スタート] メニューのショートカット一覧より、[オンライン] または [オフライン] アイコンのいずれかを右クリックし、[管理者として実行] オプションを選択します (インストールの最後に [PC-DMIS を起動] チェックボックスを選択しなかった場合にのみ必要とされます)。



管理者として実行オプション

管理者として実行オプションによって、プログラムは必要な測定機固有の設定を書き込むことができます。

3. 以前のバージョンからの設定をインポートすることができます。

PC-DMIS 2022.1 と pcdlrm.ini ファイルで使用される以前のバージョンの PC-DMIS をインストールするとき、インストーラは新しい設定として pcdlrm.ini ファイルにある設定を使用するかどうかをユーザーに尋ねます。

以前のバージョンで Settings Editor を使用していた場合は、次の手順に従って以前のソフトウェア設定を使用します：

- a. Close PC-DMIS 2022.1。
- b. **開始メニュー**から、[PC-DMIS 設定エディタ] を起動します。
- c. エディターが開いたら、[インポート] をクリックして **ステップ 3: 既存の設定をバックアップ [28]** でバックアップした PCDRRegFile.dat ファイルを開きます。PC-DMIS 2022.1 はユーザーの設定をインポートします。
- d. PC-DMIS Settings Editor の終了

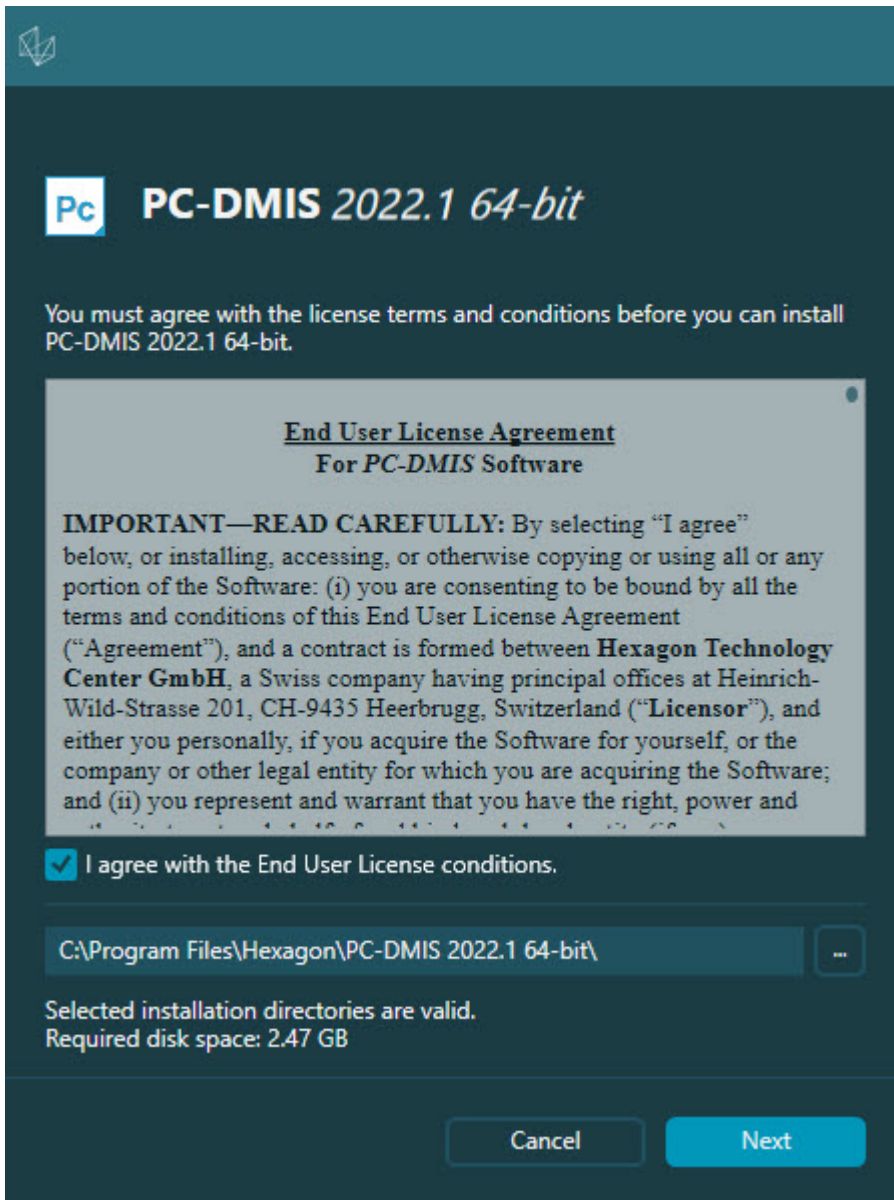
## その後のスタートアップ

以後のスタートアップでは、通常の [オフライン] または [オンライン] ショートカットをクリックして、PC-DMIS 2022.1 を通常通りに起動します。



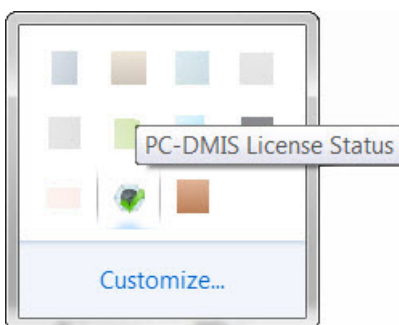
### PC-DMIS 2022.1 ショートカット

PC-DMIS 2022.1 が起動すると、[ソフトウェアライセンス] 画面が開き、現在のライセンス契約内容を表示します。契約書を熟読し、下部にある [使用許諾契約書に同意します] をクリックして以下を続行します。



### ソフトウェアのライセンス画面

PC-DMIS 2022.1 が実行されると、システムトレイにアイコンが表示されます。ポートロックまたは LMS ライセンスが正しくプログラムされている場合、以下に示すような緑色のチェックマークがアイコンに表示されます。



### 有効な PC-DMIS ライセンスのメッセージ

ポートロックが接続されていない、あるいは正しくプログラムされていない場合、または LMS ライセンスを使用しているがソフトウェアが正しくライセンスを付与されていない場合、赤色の点がオーバーレイされたアイコンが表示されます。ライセンスが切断されていることを示すポップアップメッセージが表示されます。



### 切断された PC-DMIS ライセンのスメッセージ

ライセンスが接続解除されると、PC-DMIS 2022.1 は通常に機能しますが 5 分後に自動的に閉じます。これが発生する直前にデータを保存してください。

## RS- 232 通信を使用している三次元測定機に関する注意

デフォルトでは、PC- DMIS 2022.1 は COM1 通信ポートを介して通信します。シリアル USB アダプタケーブルまたはシリアルアダプタカードが古い RS- 232 CMM と通信するためにインストールされている場合、Windows はこのポート番号を自動作成した番号に変更する必要があります。

COM ポート番号を変更するには、次の手順に従います：

1. Windows のデバイスマネージャでは、Windows がコンピュータ上の通信ポートに割り当てられた番号をメモします。ヘルプを表示するには、Windows のヘルプを参照してください。
2. オンライン・モードで PC-DMIS を開くか、測定ルーチンを作成します。
3. **編集|環境設定|測定機インターフェイスのセットアップ**を選択します。
4. **通信ポート**ボックスで、Windows のデバイスマネージャからポート番号を入力します。

## コマンドラインによるインストール

PC-DMIS のインストール実行ファイルをダブルクリックする以外に、コマンドラインから PC-DMIS をインストールすることもできます。また、さまざまなコマンドライン引数をオンまたはオフにして、インストール処理を高速化することもできます。

このトピックでは、支援されているコマンドライン引数の一覧を示します。



### 注記

コマンドライン引数は大文字と小文字を区別します。

## ユーザーインターフェイスのパラメータ

**-q, -quiet, -s, -silent** - ユーザーの介入なしでインストールします

**-passive** - 進捗バーのみのインストールを行います

## インストールコマンド

**-uninstall** - コンピュータからアプリケーションを削除します

**-repair** - アプリケーションを修復 ( またはインストールされていない場合はインストール ) します

**-package, -update** - インストール ( デフォルト )

**-layout** - ローカル/管理者画像を作成します

**HEIP** - このパラメータは Hexagon 社の顧客体験向上プログラムのオプトインオプションを設定します。これは、アプリケーションの改善に役立つ PC-DMIS の分析機能を提供します。デフォルトでは、このオプションはオンです ( **HEIP = 1** )。このパラメータを 0(ゼロ)に設定すると、このオプションはオフになります。

**USELMSLICENSING** - このパラメータがオンのとき ( **USELMSLICENSING=1** )、PC-DMIS は LMS ライセンスを確認します。このパラメータを 0(ゼロ)に設定すると、このオプションはオフになります。

**INSTALLPDFCONVERTER** - このパラメータがオンのとき ( **INSTALLPDFCONVERTER=1** )、PC-DMIS インストールは PDF コンバータをインストールします。デフォルトでは、このオプションはオンです。このパラメータを 0(ゼロ)に設定すると、このオプションはオフになります。

**INSTALLOFFLINEHELP** - このパラメータがオンのとき ( **INSTALLOFFLINEHELP=1** )、PC-DMIS インストールはオフライン英語ヘルプシステムをインストールします。デフォルトでは、このオプションはオンです。このパラメータを 0(ゼロ)に設定すると、このオプションはオフになります。

## 処理の再開

**-norestart** - 再起動を抑制します。

**-promptrestart** - 再起動が必要かどうかを確認します ( デフォルト )

## ログ

**-l, -log** - 特定のファイルにインストールログを作成します ( デフォルトの TempFolder )

**-logtoconsole** - コンソールから起動した場合、インストール情報をコンソールにログ (記録) します

## ヘルプ

**-?** - 支援されたコマンドライン引数 情報画面を表示します。

## 追加のパラメータ

**INSTALLDIR** - PC-DMIS アプリケーションのインストールフォルダを指定します。デフォルトの場所は「C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS <version>」です。ここで、<version>は PC-DMIS インストールバージョンです。

**SQLCONNECTIONSTRING** - アプリケーションによって必要とされる場合、接続文字列を定義します。

**LICENSESTRING** - アプリケーションによって必要とされる場合、ライセンス文字列を定義します。

**LMSENTITLEMENTID=<EID>** - このパラメータは LMS ライセンスの LMS 資格 ID (EID) を指定します。「<EID>」をユーザーの実際の資格 ID で置き換えてください。例えば: **LMSENTITLEMENTID=99999-12345-67890-12345-67890**。

**LMSURLTOFNOSERVICES = <FNO サーバーアドレス>** - このパラメータは LMS FNO サーバーへの URL アドレスを定義します。「<FNO サーバーアドレス>」を LMS サーバーへの実際の URL に置き換えます。例えば:

**LMSURLTOFNOSERVICES=https://licensing.wilcoxassoc.com/flexnet/services**。

**LMSPROXYHOST = <{proxyhostname}>** - このパラメータは、プロキシホストサーバーの名前を定義します。<{ProxyHostName}>をプロキシホストサーバーの名前に置き換えます。例えば: **LMSPROXYHOST = {fnoserver}**。

**LMSPROXYUSERNAME = <{proxyusername}>** - このパラメータは、プロキシサーバーのユーザー名を定義します。<{proxyusername}>をプロキシサーバーのユーザー名に置き換えます。例えば: **LMSPROXYUSERNAME = {jrjones}**。

**LMSPROXYPASSWORD = <{proxypassword}>** - このパラメータはプロキシサーバーのパスワードを定義します。<{proxypassword}>をプロキシサーバーのパスワードに置き換えます。例えば、次のようにします: **LMSPROXYPASSWORD = {AS4BGxpZyu}**。

**LMSLICENSESERVERS ( @{ipaddress} )** - このパラメータは、LMS ライセンスサーバーのカンマ区切りリストを定義します。

**LICENSETYPE** - このパラメータはライセンスの種類を指定します。オプションは HASP、LMSEntitlement または LMSServer です。例えば、**LICENSETYPE=LMSEntitlement** です。

追加パラメータの正しい使用法は次のとおりです:

**PARAMETER=値**

## 無人インストールの例

C:\PCDMISW\というディレクトリに無人インストールを実行するには、次のコマンドライン引数を使用します:

Pcdmis<インストーラ情報>.exe -q INSTALLDIR="C:\PCDMISW"

ここで、<インストーラ情報>は PC-DMIS のバージョンで、インストールする.exe ファイルのビルド番号です。

## ネットワークの接続

このセクションでは、一部の Hexagon 製品のネットワークアクセスの詳細について説明します。

### ファームウェア配布済コントローラ (FDC) の接続

PC-DMIS はこれらのパラメータを使用して、FDC との接続を確立します：

- コントローラアドレス - 100.0.0.1
- PC-DMIS コンピュータアドレス - 100.0.0.2
- サブネットマスク - 255.255.255.0
- ポート - 1234

### LMS ライセンス

ライセンス検証サーバーとノードロックライセンスの ClmAdmin ユーティリティは、次の場所にあります：

<https://licensing.wilcoxassoc.com/flexnet/services>

Flexnet LmAdmin64 を備えたフローティングライセンスサーバーは、サーバーのポート 27000-27009 を使用します。lmgrd と lmadmin は、デフォルトで TCP ポート 27000 でリッスンします。このポート（ネットワークライセンス管理者がデフォルトを変更した場合は別のポート）で、クライアントコンピューターからネットワークライセンスサーバーへの通信を許可する必要があります。最初の接続が行われた後、通信は lmgrd/lmadmin からベンダーデーモンに移行されます。デフォルトでは、これはランダムな TCP ポートで行われます。ファイアウォールに、ランダムに選択されたポートを認識するサポートが組み込まれていない限り、ベンダーデーモンのポートを手動で指定する必要があります。

ポート 8090 および以前のバージョンの LocalHost サーバーのデフォルトはポート 8080 です。これらのポートは、ライセンスサーバーをインストールするとき、またはサーバーインターフェイスを介して定義できます。これらは、測定機に接続していない場合のオフラインライセンスのみです。

### オフラインヘルプの使用

ソフトウェアの更新時にオフラインヘルプのインストールを選択すると、ポート 443 で 2 番目のリモートアドレスが開きます。このポートはライセンスを確認します。

### Hexagon Universal Updater

ポート - 80 および 8089 ( SignalR )

## **CrashSender1403.exe**

この実行可能ファイルは、PC-DMIS クラッシュレポートユーティリティツール用です。/nocrashdump スイッチでこの実行可能ファイルを実行すると、イベントビューア画面がクラッシュレポート機能を引き継ぎます。

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2022.1 64-bit\Launcher\HexagonLauncher.exe


LauncherPC-DMIS.config /nocrashdump

## **その他の製品**

一部の Hexagon 製品は、リモート接続を確立して、電子メールやテキスト警告を送信できるようにする必要があります。これらの製品には、Pulse、Notification Center / Message Lights、および SMART Factory が含まれます。

## ソフトウェアのアップデート

Hexagon Universal Updater アプリケーションは、コンピュータがインターネットに接続されている場合、自動的にソフトウェアのアップデートをチェックします。このアプリケーションは PC-DMIS と Inspect と共にインストールされます。アップデートがアップデートが利用可能であることを検出した場合、アップデートはタスクバーの時計の右側にある Windows の通知領域を使用して、アップデートを通知します。通知をクリックすると、アップデートを開いてそのアップデートをダウンロードしてインストールできます。

アップデートが実行されている場合、タスクバーの通知エリア (  ) にアップデート用の小さなアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると、アップデートを開くことができます。

アップデートが実行されていない場合は、アップデートを手動で実行してアップデートを確認できます。アップデートを使用してソフトウェアを起動したり、新しいソフトウェアアプリケーションをインストールしたりすることもできます。アップデートを実行するには、「スタート」メニューから「**Universal Updater**」と入力し、アップデートのショートカットを選択します。

アップデートに追加のヘルプが必要な場合は、アップデート自体から利用可能なヘルプの内容にアクセスできます。



### 重要

ダウンロード中及びインストールのプロセスにファイアウォールは <http://www.wilcoxassoc.com/WebUpdater> インターネットアドレスを許可する必要があります。さらに、ソフトウェアのアップデートをインストールするには管理者権限を持つ必要があります。

インストールの手続きについては、上記のトピックで説明されているインストール手順に従ってください。インストールの手続きが完了したら、最新バージョンを使用できます。

Universal Updater から PC-DMIS を更新すると、ソフトウェアは[関連製品]ダイアログボックスを開きます。ソフトウェアは、必須および推奨製品の一覧を表示します。

### 必須

**HxGN SFX | Connector** - このソフトウェアはユーザーのアセットを SFX アカウントに接続します。また、アセットをモニターし、SFX アカウントにデータを送信します。

## 推奨

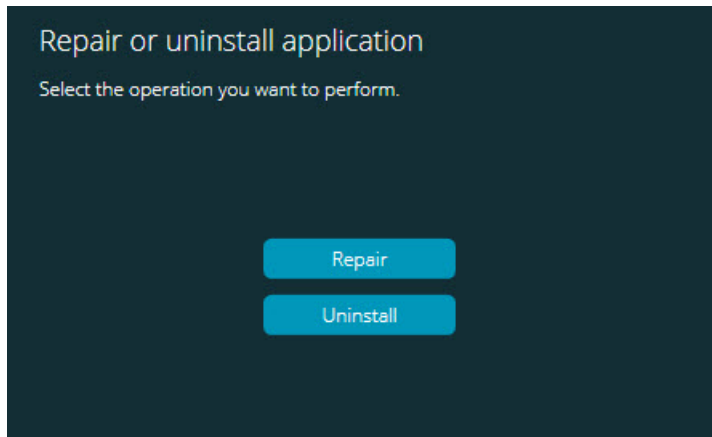
**Inspect** - このソフトウェアは、オペレータがサポートされている製品から測定ルーチンを実行し、レポートを生成するための簡単なオペレータ向けのインターフェイスを提供します。

**Notification Center** - このソフトウェアは (機械にエラーが生じているときなど) 特定のイベント中に、(PC-DMIS などの) クライアントアプリケーションから (CMM などの) 測定装置に通知を送信します。

評価版および HASP から LMS への変更については、PC-DMIS Core ドキュメンテーションの「ソフトウェアのアップデート」を参照してください。

## インストールの変更または削除

インストール後にインストールを修復または削除することもできます。これを行うには、インストールプロセスを開始するのと同様に、Pcdmis2022.1\_release\_###.#.###.#\_x64.exeファイルをダブルクリックします。このセットアップでは以下のオプションを含む画面が表示されます。



「アプリケーションの修復またはアンインストール」ダイアログボックス

- **修復** - このオプションでは、すべての製品ファイルを元々インストールされていたおりに再インストールできます。このオプションはインストールによって全ファイルが正しくインストールされなかった場合に問題点を解決するのに役立つことがあります。
- **アンインストール** - このオプションはアプリケーションをそのインストール場所から削除します。また、コントロールパネルの**アプリと機能画面**または**プログラムと機能コントロールパネル**を使用して、アプリケーションをアンインストールすることもできます。

## 別の言語で PC-DMIS を実行

PC-DMIS 2022.1 の最初のインストールファイルにはサポートする言語すべてのユーザーインターフェイスファイルが含まれています。PC-DMIS 2022.1 をインストールすると、使用しているオペレーティングシステムの言語をもとに言語ファイルがインストールされます。

オペレーティングシステムの言語以外の言語で PC-DMIS 2022.1 を実行するには、**ファイル | 言語メニュー**を選択し、希望する言語をクリックします。PC-DMIS はアプリケーションがシャットダウンして再起動することを示すメッセージを表示します。続けるには、「はい」をクリックして下さい。PC-DMIS 2022.1 はすぐに閉じ、選択された言語で再度開きます。

英語以外の言語でヘルプコンテンツを入手するには、「[言語パックから非英語のオフラインヘルプファイルをインストールする \[48\]](#)」を参照してください。

## 言語パックから非英語バージョンのヘルプをインストールすること

このトピックは、インターネットにアクセスできないユーザーにのみ適用されます。

- インターネットアクセスを使用すると、PC-DMIS 2022.1 のオンラインヘルプをサポート済みのすべての言語の公開ウェブサーバーから入手できます。アクセスするたびに、ブラウザにヘルプが表示されます。
- インターネットにアクセスできない場合、PC-DMIS 2022.1 は、使用中のバージョンのオフラインヘルプをインストールした場所にあるヘルプを使用します。

メインインストールファイルを使用すると、オフラインヘルプを英語でインストールできます。しかし、非英語版オフラインのヘルプファイルはメインインストールファイルに含まれていません。つまり、英語以外の言語を使用する予定で、インターネットにアクセスできない場合は、ヘルプコンテンツを表示するために、その言語の言語パックもインストールする必要があります。

言語パックにはその言語のすべてのオフラインヘルプコンテンツが含まれています。

言語パックをインストールするには、次の手順に従います：

1. 希望する言語パック (および .exe ファイル) をインストールメディアから探すか、あるいは以下のインターネットサイトからダウンロードします：  
<https://downloads.ms.hexagonmi.com/PC-DMIS-Versions/Release/2022.1/Release/x64/Lang>
2. .exe ファイルを実行し、指示に従います。このステップを行うには管理者権限は必要ありません。

この手順では、使用中のバージョンのオフラインヘルプをインストールしたフォルダ内にヘルプコンテンツがインストールされます。

その後、ソフトウェアでその言語に切り替えて、ヘルプコンテンツにアクセスすることができます。

## トラブルに対処

このトピックでは、インストール、起動、およびソフトウェアアップデートの問題をトラブルシューティングする情報を提供します。

### 起動が遅くなる

**問題:** お客様は、「[推奨システム要件 \[22\]](#)」トピックに説明されるように、推奨システムの最低要件に満足したコンピュータを使用して、それがソフトウェアを起動することに 30 秒以上かかります。

**説明:** これが発生するのは PC-DMIS を実行しようとするが、インストールウィザードで **[PC-DMIS 2022.1 64-ビットを起動する]** チェックボックスをオンにしていなかった場合です。これによって HASP ドライバー読み込みの問題が発生します。「[ステップ 4: ソフトウェアのインストール \[31\]](#)」で説明されているように、HASP ライセンス

タイプでインストールされる場合にのみ、この問題が発生することに注意してください。

**解決方法：** PC-DMIS 2022.1 をアンインストールしてから再インストールします。再インストールするには、インストールファイルを右クリックして[管理者として実行]を選択します。

## 衝突報告書を送信するためにネットワークを設定すること

**問題:** ユーザーのソフトウェア構成が/nocrashdump スイッチを使用しないときでも、PC-DMIS 2022.1 がクラッシュレポートを Hexagon Manufacturing Intelligence に自動的に送信できない。(このスイッチは PC-DMIS 2022.1 の衝突報告書を無効にします)。

**説明:** ユーザーのコンピュータ上のファイアウォールがサーバーへの接続から HEXAGON Universal アップデータアプリケーションをブロックしている可能性があります。PC-DMIS 2022.1 がクラッシュした場合には、クラッシュレポートを送信するために HTTP 経由で PHP スクリプトを使用しています。これが行なわれなかった場合、それは crashreport@wilcoxassoc.com にレポートを送信しようとします。標準の SMTP 電子メールプロトコルを使おうとします。これが正常に実行されない場合、PC-DMIS は MAPI を介して電子メールを送信しようとします。

**対処：** クラッシュレポートシステムは、ポート 80 を使用してサーバー ( <http://www.wilcoxassoc.com/> ) にアクセスできる必要があります。

## 既存バージョンの上にインストールすると予期せぬ現象が起こります

**問題：** ソフトウェアが既存バージョンの上にインストールされ、ソフトウェアが正常に動作しません。可能性のある兆候には以下のことがあります。

- ソフトウェアが起動されたら、「プロセスジャエントリポイント」エラーが発生します。
- [ヘルプ] バージョン情報]が選択されると、新しいビルド番号が表示されません。
- 報告されたバグの修正は、修正されていないようで、且つ、PCDLRN.EXE は元のリリースよりも新しい日付と時刻を持っていません。

**説明：** 既存バージョンの上に正しくインストールされていないものがありました。

**解決策：** アプリと機能またはコントロールパネルを使用して、既存バージョンを完全にアンインストールした後、インストールしようとするバージョンを再インストールします。

## 旧式の DPUPDATE.EXE の実行は働きません

**問題:** 遺産 DPUPDATE.EXE は実行できない。

**説明:** PC-DMIS 2022.1 を管理者特権なしで実行する場合、DPUPDATE.EXE は機能しません。

**対処:** 管理者権限で PC- DMIS 2022.1 実行します。

## Hexagon Manufacturing Intelligence へのお問い合わせ

PC-DMIS 2022.1 リリースのテクニカルプレビューに参加している場合、<http://www.pcdmisforum.com/forum.php> の適切なテクニカルプレビューフォーラムへフィードバックを投稿してください。テクニカルプレビューについては Hexagon 社のテクニカルサポートには問い合わせないでください。

PC-DMIS 2022.1 の商用リリース版を使用しており、テクニカルサポートについて詳細を知りたい場合は、[hexagonmi.com/contact-us](http://hexagonmi.com/contact-us) へ問い合わせるか、または [hexagonmi.com/products/software](http://hexagonmi.com/products/software) を参照してください。[support.hexagonmi.com](http://support.hexagonmi.com) または電話 (1) (800) 343-7933 で Hexagon 社のテクニカルサポートに連絡することもできます。

## 補遺 A

### コマンドラインからのインストーラーに LMS のライセンス情報を提供する

LMS のライセンス認証の情報は、コマンドラインを使用してインストーラに送信することができます：

- インストーラはサイレントモード(-q)または基本サイレントモード(-passive)で実行され、正しい情報が提供されている場合は、すべてがユーザーとの対話なしで実行されます。コマンドスイッチ-q は進捗バーを表示し、インストーラのエラーを処理します。-passive スイッチはユーザーインターフェイスを非表示にします。
- インストーラがサイレントモードで実行されていない場合、提供された情報が LMS のアクティベーションフォームの入力に使用され、[ライセンス画面 \[31\]](#)がスキップされます。
- -?を入力して、追加コマンド行の引数を確認します。

パラメータの説明は、例とともに、あとに続きます。

### 説明

**USELMSLICENSING=1** - このフラグはユーザーが使用している LMS ライセンスがシステムに存在する場合にのみ役立ちます。これによって、サイレントモードがライセンス選択をユーザーに要求することなく機能することができます。インストーラがサイレントモードで動作していない場合、インストールプロセスは依然としてライセンスタイプの選択ダイアログをスキップすることができます (これによって時間が節約されます)。

**ENTITLEMENTID =entitlement id>** - このパラメータと値は LMS ライセンスが以前にインストールされていない新しいシステムで役に立ちます。これはユーザーが LMS ライセンスを希望しており、資格 ID を提供してアクティブ化しようとすることを示しています。この値が指定されると、**USELMSLICENSING** を指定する必要はありません。

**LMSLICENSESERVERS="server1,server2..."** - このパラメータは、ライセンスサーバーと通信するシステムで使用されます。また、ライセンスの種類を選択ダイアログボックスをスキップすることができ、インストールがサイレントモードで行われます。

**LMSPROXYHOST="proxyhostaddress"** - このオプション・パラメータは、プロキシホストのアドレスを与えます。サイレントモードでは、直接に有効化に使用されます。非サイレントモードでは、この値を使用して有効化のフォームを移入します。

**LMSPROXYUSERNAME="user name"** - このパラメータは、プロキシユーザー名のための別のオプションのパラメータです。それは **LMSPROXYHOST** と同じように動作します。

**LMSPROXYPASSWORD="unencrypted password"** - このパラメータは代理パスワード用の別のオプションのパラメータです。それは **LMSPROXYHOST** と同じように動作します。

**LMSURLTOFNOSERVICES=URL to FNO server** - このパラメータは主に内部開発用です。デフォルトの URL は運用サーバーに対するものです。この新しい値はデフォルト値と点を開発サーバーに上書きするのに使用できます。

## 例

ノードロックされた権利 ID を備えた新しいシステムでは、以下の行が PC-DMIS 2022.1 をサイレントモードでインストールします。

**-q LMENTITLEMENTID=99999-88888-77777-66666-55555**

既にライセンスを持っているシステムでは、以下の行によって PC-DMIS 2022.1 がサイレントモードでインストールされます。

**-passive USELMSLICENSING=1**

ライセンスサーバーを使用する新しいシステムでは、下記の行によって PC-DMIS 2022.1 がサイレントモードでインストールされます。

**-passive LMSLICENSESERVERS="123.12.134.42"**

ライセンスをもっていない真新しいシステムにおいては、下記の行はライセンス・タイプ選定のダイアログ・ボックスをスキップし、有効化フォームに移入します:

**LMENTITLEMENTID=99999-88888-77777-66666-55555**

**LMSPROXYHOST="123.123.123.123" LMSPROXYUSERNAME="bob"**

**LMSPROXYPASSWORD="marley"**

## 補遺 B

### 必要なユーザーアクセス権

PC-DMIS 2022.1 はファイルシステムで以下に定義された場所への読み込み、書き出しおよび作成のアクセス権を必要とします。

## ファイルシステム

Windows 10、Windows 8.1 および Windows 8:

- C:\ProgramData\Hexagon\PC-DMIS\2022.1
- C:\Users\Public\Documents\Hexagon\PC-DMIS\2022.1
- C:\Users\UserName\AppData\Local\Hexagon\PC-DMIS\2022.1
- 測定ルーチン、プローブ、サブルーチン等を保存するための、ユーザー指定のフォルダー位置

## 付記

新バージョンを始めて起動すると、PC-DMIS は自動的にインストールされた最新の PC-DMIS バージョンから設定をコピーします。これを機能させるために、PC-DMIS を始めて起動する際には管理者権限で実行する必要があります。インストール中、セットアップウィザードで **[PC-DMIS を起動]** チェックボックスをマークすると、管理者権限で PC-DMIS が実行され、この最初のステップが完了します。

この最初の移行は、任意の移行される設定に対応する JSON ファイルに読み込み、書き込みおよび作成許可を自動的に設定します。

レーザーセンサーの固定治具を使用する場合、1 レベル戻って以下のレジストリキーが保存されます：

- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Hexagon\FxtServer
- HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Hexagon\PC-DMIS\NCSENSORSETTINGS

HKEY\_LOCAL\_MACHINE\SOFTWARE\Hexagon\ キーに作成/読み込み/書き込み権限を適用するだけで全てのサブキーにも同じ権限が適用されるため、この方が簡単です。

## 付録 C

### 柔軟な治具付きの PC- DMIS の初回インストール

PC- DMIS 製品の権限ルールに準拠するためには、固定具に関連するファイルはこのフォルダにあります：

C:\Program Files\Hexagon\PC-DMIS 2022.1 64-bit\Models\QuickFix

これは、PC - DMIS を実行している PC の管理者権限を必要とせずに、ファイルへのアクセスを許可します。これを達成するには、初めて PC- DMIS をインストールする際に、以下の手順を実行する必要があります。

1. はじめて PC-DMIS および FxtServerInterface をインストールする時に、まずは管理者特権で(PC-DMIS のインストールに請求されたように)FxtServerInterface インストールプログラムを実行します。

2. FxtServerInterface を実行している時には、メッセージは、システムがすべてのデータファイルを上記の「 FIVEUNIQUE 」文書フォルダに移行することを述べているというメッセージが表示されます。

- 「はい」を選択すると、ファイルが移動され、元のフォルダは削除されます。
- 「いいえ」が選択されると、ファイルがコピーされますが、元のフォルダは保存されます。

これが完了されると、ファイルが移動かコピーされて、ユーザが管理者権限なしで FxtServerInterface.exe を実行することができます。